

令和2年度 中間決算（連結）の概要

（単位：億円（単位未満切捨て））

区 分	令和元年度 上期実績 A	令和2年度 上期実績 B	対前年増加額・率	
			B-A	(%)
営業収益	6,578	4,345	△ 2,233	△33.9%
高速道路事業	6,102	3,949	△ 2,152	△35.2%
(料金収入)	4,505	3,449	△ 1,055	△23.4%
(道路資産完成高)	1,563	468	△ 1,094	△70.0%
(その他の営業収益)	33	31	△ 2	△6.1%
関連事業	503	422	△ 80	△16.0%
(SA・PA事業)	226	111	△ 115	△50.8%
(受託・その他の事業)	277	311	34	12.4%
セグメント間取引の消去	△ 27	△ 27	0	-
営業費用	6,290	4,086	△ 2,203	△35.0%
高速道路事業	5,837	3,659	△ 2,178	△37.3%
(道路資産賃借料)	3,136	2,140	△ 995	△31.7%
(道路資産完成原価)	1,563	468	△ 1,094	△70.0%
(管理費用等)	1,137	1,050	△ 87	△7.6%
関連事業	479	454	△ 25	△5.2%
(SA・PA事業)	201	142	△ 58	△29.2%
(受託・その他の事業)	278	311	33	12.1%
セグメント間取引の消去	△ 27	△ 27	0	-
営業利益	288	258	△ 30	△10.4%
高速道路事業	264	※ 290	25	9.5%
関連事業	23	△ 31	△ 55	-
経常利益	302	275	△ 26	△8.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	222	181	△ 40	△18.3%

※当社においては、高速道路の料金収入は下期に比べて上期のほうが多く、管理費用は冬の雪氷対策費用などにより、上期に比べて下期のほうが多くなる傾向にあります。

このため、高速道路事業における令和2年度上期の営業利益は290億円ですが、通期の損益見通しでは、41億円の営業損失を見込んでいます。

【参考】個別決算の損益概要

(単位:億円〔単位未満切捨て〕)

区 分	令和元年度 上期実績	令和2年度 上期実績	令和元年度	令和2年度
			通期実績	通期見通し ※
営業収益	6,398	4,253	12,308	11,773
高速道路事業	6,071	3,920	11,748	11,258
(料金収入)	4,505	3,449	8,574	7,014
(道路資産完成高)	1,563	468	3,160	4,229
(その他の売上高)	2	2	13	14
関連事業	327	333	559	514
(SA・PA事業)	58	32	106	73
(受託・その他の事業)	269	300	453	440
営業費用	6,119	3,973	12,270	11,868
高速道路事業	5,802	3,625	11,717	11,330
(道路資産賃借料)	3,136	2,140	6,118	4,689
(道路資産完成原価)	1,563	468	3,160	4,229
(管理費用等)	1,102	1,015	2,438	2,411
関連事業	316	347	552	537
(SA・PA事業)	45	44	95	93
(受託・その他の事業)	271	303	457	444
営業利益(△損失)	279	280	38	△ 95
高速道路事業	269	295	31	△ 71
関連事業	10	△ 14	7	△ 23
経常利益(△損失)	301	315	70	△ 60
中間(当期)純利益(△損失)	225	217	58	△ 75

※ 令和2年度通期見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素により、上記の計画と異なる可能性があることをご承知おきください。

【参考】令和2年度上期のトピックス

【高速道路事業】

■新規開通(ネットワークの整備)

東北自動車道 桑折JCTの開通(令和2年8月2日)により、同日開通した 復興支援道路 東北中央自動車道(事業主体:国土交通省) 伊達桑折IC~桑折JCT間(2.0km)が接続され、並行する国道4号線の渋滞区間を避けたルート選択による速達性・定時性向上、伊達桑折IC周辺地域に立地する工業団地から東北自動車道へのアクセス性向上、観光拠点へのアクセス性向上といった、地域・企業・広域観光の活性化支援に寄与しました。



東北自動車道 桑折JCT



開通式典

■高速道路リニューアルプロジェクト(機能の向上と長寿命化)

高速道路のネットワーク機能を長期にわたって健全に保つため、老朽化した橋りょうの対策工事やトンネルの補強工事などを実施しています。令和2年度上期においては、東北自動車道 須賀川IC~矢吹IC間の第1隈戸川橋(上り線)など、9橋の床版取替工事に着手し、このうち4橋の工事が完了しました。



東北道 第1隈戸川橋床版取替工事

【関連事業】

■SA・PA商業施設のリニューアルオープン

令和2年9月29日に東北自動車道 国見SA(下り線)をドラマチックエリアとしてリニューアルオープンしました。東北と関東をつなぐ交通の要衝としてかつて宿場町が栄えた歴史と、肥沃な風土から年間を通じて果実や野菜などの農産物が収穫される立地環境から、「四季見宿(しきみしゆく)」をコンセプトに、旬の食材・特産品を取り揃え、四季折々の賑わいを感じられる空間を演出します。



※Sweets monmo(もんも)

東北道 国見 SA(下り線)